

ナサリン (1958)

NAZARIN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 メキシコ

色彩 B&W

時間 94分

初公開日 1991/04/20

公開情報 ヘラルド・エース＝ヘラルド

【解説】

スペインのバルザックと呼ばれた、19世紀の作家ペレス・ガルドス（「哀しみのトリスターナ」の原作者でもある）の小説を映画化した、辛辣で真摯な聖職者をめぐるブニュエル流反？信仰告白。主人公の神父ナサリンは窓から誰でも出入りできる安アパートの二階に住み、貧しい者から施しを受けることを懷疑し、その金を盗まれても平然としている善良すぎる男。その彼の元に殺人を犯した娼婦アンダラがかくまって欲しいと飛び込んでくる。傷を負った彼女を優しく手当てして、迷信と信仰の違いを教えて聞かせる彼に、しかし、アンダラは手痛いしっぺ返し。証拠隠滅にアパートに火を放って逃げたのだ。おまけに彼女との関係を疑われ、神父の資格を剥奪された彼は、自分の無実の証しを立てるため巡礼の旅に出る。が、やることなすこと逆手にとられ、その善行が彼を窮地に追い込んでゆく……。ドン・キホーテ的な過剰な“意志の人”が結果的に良心の押し売りをし、民衆に糾弾されるが、その純粋さに、明らかに美点も認めているブニュエル。様々な解釈を生む由縁であろう。

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
製作	マヌエル・バルバチャ・ノーボンセ	
原作	ベニト＝ペレス・ガルドス	Benito Pérez Galdós
脚本	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
	フリオ・アレハンドロ	Julio Alejandro
撮影	ガブリエル・フィゲロア	Gabriel Figueroa
出演	フランシスコ・ラバル	Francisco Rabal
	マルガ・ロペス	Marga Lopez
	リタ・マセド	Rita Macedo
	ヘスス・フェルナンデス	